

図13 血圧の状況（性、年齢階級別）

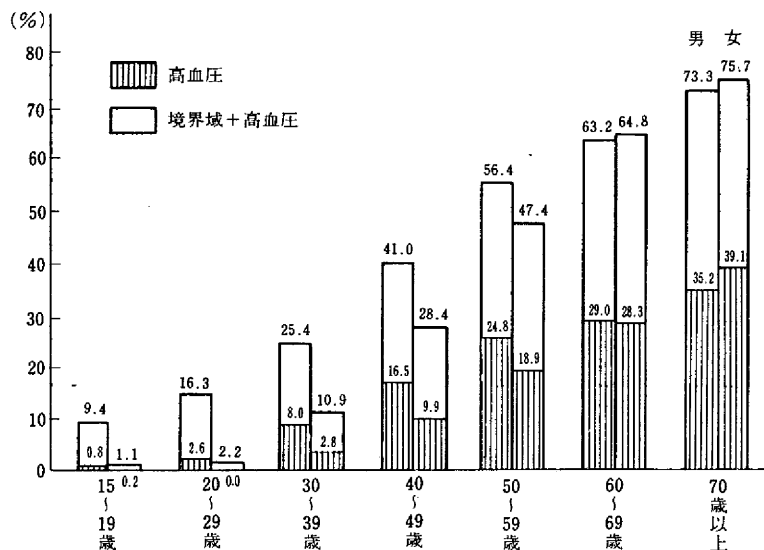


表4 高血圧者の年次推移（性、年齢階級別）

(%)

		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男	昭和50年	1.9	3.3	9.8	18.3	29.0	36.7	51.2
	55年	0.8	3.8	9.2	19.3	28.7	35.9	44.0
	58年	0.7	5.5	7.5	18.0	26.1	34.5	40.9
	60年	0.8	2.6	8.0	16.5	24.8	29.0	35.2
女	昭和50年	0.6	1.0	3.7	13.2	27.7	35.7	47.9
	55年	0.2	0.7	2.9	12.0	21.1	30.3	41.9
	58年	—	0.6	3.1	11.0	22.3	33.0	43.1
	60年	0.2	—	2.8	9.9	18.9	28.3	39.1

5. 欠食・外食の状況

調査における欠食・外食の状況は表5のとおりである。

昭和60年調査において欠食した者の割合は、朝食では男8.7%、女5.9%、昼食では男1.9%、女1.8%、また、夕食では男0.9%、女0.7%である。

また、欠食割合の多い朝食について、性別・年齢階級別にみたのが表6である。男女ともに20歳代の欠食率をもっとも高いという結果が示されている。

表 5 食事の内訳

(%)

		外 食			欠 食	家 庭 食
		職 場 給 食	学 校 給 食	その他外食		
1 日	全 国	3.0	5.1	9.0	3.1	79.8
	男	4.1	5.4	11.4	3.8	75.3
	女	1.9	4.7	6.8	2.8	83.8
朝	男	0.6	—	2.4	8.7	88.3
	女	0.2	—	1.1	5.9	92.8
昼	男	10.9	16.1	23.1	1.9	48.0
	女	5.3	14.2	14.2	1.8	64.5
夕	男	0.9	0.1	8.7	0.9	89.4
	女	0.4	0.0	5.1	0.7	93.8

表 6 朝食の欠食状況（年齢階級別）

(%)

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
男	10.3	26.0	21.0	13.8	8.7	6.1	4.3	2.8
女	9.0	18.6	10.8	6.4	6.7	5.3	2.6	4.2

一方、外食について、年次推移をみたのが表7である。朝・夕食については男女とも年度によって若干の増減をくり返しているだけで、ほとんど変化はみられない。それに対し、昼食については昭和58年まではわずかではあるが増加傾向にあったが、この2年ほど減少の傾向がみられる。

表 7 外食の年次推移

(%)

		昭和50年	昭和52年	昭和54年	昭和56年	昭和58年	昭和59年	昭和60年
男	朝	3.0	3.4	3.1	3.6	3.2	3.3	3.0
	昼	46.3	48.1	49.3	49.6	52.2	50.1	50.1
	夕	8.8	9.7	9.7	10.8	10.1	10.5	9.7
女	朝	1.2	1.4	1.3	1.6	1.5	1.4	1.3
	昼	30.9	31.0	32.9	34.9	34.7	33.9	33.7
	夕	4.8	5.4	5.5	6.3	5.6	5.7	5.5

6. 食生活状況

昭和60年の調査実施に当たって、被調査世帯のうち15歳以上の男女を対象として食生活状況等について質問調査を行ったが、調査結果の概要は次のとおりである。

(1) 食事のバランスと栄養素等摂取量

——摂取食品の種類が少ない者は栄養素摂取、
特にビタミン、ミネラルの不足をきたしやすい——

「毎日、にんじんやほうれん草など緑や黄色の濃い野菜を食べますか」「こんぶ、わかめ、のりなど